

コード	10401
作成年度	24年度

基本事業評価表

基本事業名称	情報通信網等の整備
--------	-----------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまを活性化させる情報基盤づくり

課コード	108	関係課名	情報化推進室
主管課名	まちづくり推進課		

基本事業の目的

地域課題解決のために町内128ヶ所の公共施設等に接続する光ファイバー網を活用して情報格差解消に努め、住民が主役の町づくりを住民が主体的に行う運営体制の構築と学官連携・協働による、より高度で安心な充実した環境を創りあげることを目指す。

基本事業の成果

成果指標名称 1	情報格差解消	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	情報格差解消地区÷行政区	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成24年度	目標達成年度	
目標達成数値	126地区	目標達成数値	

年		度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
成果指標 1	目標 A	単 位	地区	126	126	126	126	126
	実績 B		地区			77	80	
	達成率 B/A		%			61.0	63.0	
成果指標 2	目標 A	単 位						
	実績 B							
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	光ファイバーネットワーク網を利用して携帯電話基地局、無線LAN施設整備を計画的に実施し、情報格差解消に努めてきた。その結果すべての町内有人地区での携帯電話、高速インターネット利用が可能になった。平成23年度は地上デジタルテレビ放送対策に光ファイバネットワーク網を活用してテレビ信号を各テレビ共同受信施設組合へ配信した。
	課題	計画的に情報通信網等の整備を実施してきているが、町内には集落の立地等により高速インターネット環境、地上デジタル放送受信環境が整っていない地区がある。また、高度情報化社会を迎え、各事業所・家庭までの超高速情報通信網確保の要望が出されているが、現在のところ民間のサービス提供の予定もなく行政としてどう対応していくか課題となっている。
	改善	光ファイバーネットワーク網の更なる活用方法の検討、住民ニーズを的確に把握し、国・県の動向を見極めながら計画的な整備・充実に努め、情報格差解消と情報基盤整備を実施していく。
2次評価		今後も住民のニーズを把握し、地域間での情報格差解消に努め、住民の利便性の向上に資するよう情報通信基盤の充実を図ること。
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	104010102	超高速インターネット上位回線接続 事業	まちづくり推進 課	9,344千円	(途中) 事業内容を見直して継続
2	104010103	地域情報通信基盤整備推進事業（無 線LAN整備事業）	まちづくり推進 課	1,134千円	(途中) 事業内容を見直して継続
3	104010104	辺地共聴施設整備事業（地上デジタ ル放送難視聴地区解消事業）	まちづくり推進 課	14,241千円	(途中) このまま事業を継続
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				24,719千円	